

米国家メディア代表：「RT は、ISIS やボコ・ハラムのよう な挑戦者だ」

RT (Russia Today)

January 23, 2015

http://img.rt.com/files/news/37/10/70/00/2495124_rtnews.mp4?event=download

新しく任命された米国放送首脳理事会 (US Broadcasting Board of Governors) チーフの Andrew Lack は、RT のことを、イスラム国やボコ・ハラムのような過激派グループと並んで、この部局に挑戦する主たる団体の一つだと述べた。

BBG の初代理事長ラックは、ニューヨーク・タイムズとのインタビューで、RT のことをこう評した——http://www.nytimes.com/2015/01/22/us/broadcasting-board-of-governors-names-chief-executive.html?_r=1

「我々は、ある観点を押し出している Russia Today とか、中東のイスラム国とか、ボコ・ハラムのような連中から、多大の挑戦を受けている。しかしこの部局は、これらの挑戦を受けて立つ役割をもつものと私は信じている。」

RT は、今日の最も危険な 2 つのテロリスト・グループと同列に論じられようとは予期しなかったもので、このコメントについて釈明を求めている——

「我々は、BBG の新しい理事長が、RT を、世界のナンバーワン・テロリスト軍団と同じもののように言っていることに憤慨している。我々はこれを国際的スキャンダルとみなし、説明を要求する」と、RT 編集長の Margarita Simonyan は述べた。

BBG そのものとは別に、RT は米務省やロシアの米大使館からも釈明を求めている。

政府スポンサーによるメディアを監視する、この両党連立の部局が、国際的な聴視者に向かって、RT を挑戦者 (challenge) と呼んだのはこれが初めてではない。

「どれくらいの費用がかかるのか、ロシア・トゥデイと張り合うには、どんな手段が考えら

れるかの案を取りまとめて、まず議会に、それからホワイトハウスにもっていき、競争するためにどれくらいかかるかを説明し、それができるかどうかを考えてみようではないか」と、BBG 議長の Jeffrey Shell は 2014 年 8 月に述べた。

RT がこのように見られている理由は、「ロンドンやワシントンに、成り上がり者の、つまり新しい情報の脅威が現れて、それが、彼らが過去 50 年かそこら独占してきた物語に挑戦するものになっているからだ」と、politics.co.uk Ian Dunt の編集長は RT に語った。

<https://www.youtube.com/watch?v=HwnOJQffrv0>

参考資料：「アメリカの各放送局は RT を大きな挑戦者とみなし、競争しようとしている」

<http://rt.com/news/180184-us-channel-russian-speakers/>

今度に関しては、ニューヨーク・タイムズは、RT の“重要なアメリカにおけるプレゼンス”と評し、ロシアは、その米国事務所と「スプートニク」ニュース局に“何百万を注ぎこんだ”と論じている。

アメリカの政治家たちは前から RT を激しく叩いており、ジョン・ケリーは、昨年春のウクライナ危機についての報道について、このチャンネルを攻撃し、RT を“プロパガンダ・ラッパ”と呼んだ。

ケリーの雑言のあと、ロシアの外相セルゲイ・ラブロフは、彼の RT についてのコメントを“無礼”で“訴追すべきもの”と評した――

「西側は、かなり前から、自分がマスメディアに対する完全な独占権をもっているかのように思い込んでいる。RT は、ラテン・アメリカやアラブ世界は言うに及ばず、アメリカとヨーロッパに大きな視聴者層を得ている」と、ラブロフはある声明で語った。

参考資料：「“プロパガンダ・ラッパ”：ジョン・ケリーがウクライナでの演説で RT を攻撃」

<http://rt.com/news/154760-kerry-attacks-rt-propaganda/>

「放送局として、確かに RT は、競合する見解という点で、アメリカ国際放送への挑戦者にはなっている。しかし RT は明らかに、イスラム国やボコ・ハラム集団のような、ジャーナリストの身体的安全にとって脅威となるようなものではない。ラック氏はこの違いを明らかにするために、もっと注意深い言葉遣いをすべきだった。きっと彼は将来そうするだろうと我々は考えている」と、国際プレス機関 (IPI) 所長の Steven M. Ellis は述べた。

しかしアメリカの TV プロフェッショナルたちは、もっと RT に同情的で、その報道をメディア賞にノミネートしている。RT は、2014 年の一連のグアンタナモのハンガー・ストライキ報道に対して、エミー賞候補に推され、このチャンネルは 2010 年と 2012 年にも、エミー賞にノミネートされている。